

# 令和4年度 ネットワーク事業 健康増進施設・連絡会議 実施報告書

## 1. 会議概要

【目的】 愛知県内の様々な関連施設との連携のもと、健康づくりのネットワークを構築し、県民が運動しやすい環境整備等の推進及び、指導者のスキルアップを目的として、情報共有、意見交換を行うこと。

【方法】 来場型にて会議を行った。(都合により1名をZoomでの参加とした)

【出席者】 行政機関における運動施設管理部門の担当者  
(常滑市、半田市、阿久比町、武豊町)

### 【議題】

- 1 あいち健康プラザからの情報提供
  - (1) あいち健康プラザが実施している健康度評価について
  - (2) 健康づくりプログラムの内容
  - (3) 健康づくりリーダーの養成と活用
- 2 各市町の運動施設からの情報提供
- 3 意見交換

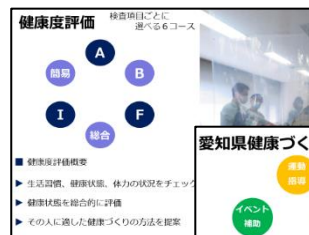
| 議題                        | 講師所属・氏名                               |
|---------------------------|---------------------------------------|
| 開会あいさつ                    | 公益財団法人愛知県健康づくり振興事業団<br>健康開発部長代理 鈴木 昌広 |
| あいち健康プラザからの情報提供           | あいち健康の森健康科学総合センター<br>健康運動指導士 井村 聡仁    |
| 各市町の運動施設からの情報提供           | 各市町の担当者                               |
| 意見交換<br>「運動施設における課題や取り組み」 | あいち健康の森健康科学総合センター<br>指導者養成課長 石川 裕哲    |

## 2. 会議要旨

### ● 「あいち健康プラザからの情報提供」

あいち健康の森健康科学総合センター  
健康運動指導士 井村 聡仁

当センターの事業について情報提供を行いました。健康度評価の概要や、評価を受検してから運動実践までの流れを説明しました。運動実践の場としては、アスレチックルームやヘルス



アップコースの概要、各種健康づくり教室等を説明しました。また、当センターが養成しているボランティア制度についても説明、各市町においても運動指導やイベントの補助など幅広くご活用いただけるようお伝えしました。

### ● 「各市町の運動施設からの情報提供」

出席いただいた4市町の運動施設担当者より、施設の運営状況や現在抱えている課題等をお話しいただきました。運営状況としてはコロナ禍のこともあり、近隣市町村等の状況を参考にしながら施設の使い方についてルールを決めて運営をしている。利用状況は緊急事態宣言下により施設の閉館を行って以降、減少したが徐々に戻りつつある。抱えている課題としては、施設や各トレーニング器具等の老朽化が共通の課題としてありました。



### ● 意見交換

各種情報提供の後、意見交換を行いました。

#### (1) 運動施設の夜間利用状況について

- ・プールの夜間利用者は少ない状況である。
- ・利用者数が1日を通して減っているため、夜間だけが減っているかは不明である。
- ・近隣に24時間営業の民間施設が増えたことから、利用者が分散した可能性はあるが、数字を把握できてはいない。

#### (2) マスクの着用について

- ・明確なルールはなく、利用者判断としている。
- ・運動競技中はマスクを外している。移動時などは着用。
- ・トレーニング器具でも距離の取れるものはマスクなしでも可能。

#### (3) トレーニングの事前講習会について

- ・特になく、器具の使い方を必要に応じて伝えるのみ。
- ・施設利用の基本ルールのみお伝えしている。
- ・健康状態の把握まではできていない。

(4) 今後の会議開催について

- ・他の市町と意見交換をする機会はありませんので継続してほしい。
- ・近隣は話も聞きやすいので、範囲を広げたい。
- ・次回の開催も声をかけてほしい。

(5) その他

- ・健康状態についても今後は考えていかないといけないと感じた。
- ・今は運動施設についてはスポーツ課が単独で運営しているが、今後は健康課ともコラボしてみたい。